

I. (日本繊維技術士センターの行事予定)

(一社) 日本繊維技術士センターのホームページは、「繊維 J T C C」で検索できます。

< J T C C 開催講座のご案内 >

(対面講座のコロナ対策: 募集人員の制限、体温が 37.5°C 以上の方は受講不可、マスク着用、手の消毒を実施)

● 令和6年度の技術士試験一次、二次試験の日程及び会場

令和6年度の日程が決まりました。 詳細は日本技術士会のホームページをご覧ください。

項目	技術士一次試験	技術士二次試験
受験資格	制限なし	技術士一次試験合格者
受験申込書の配布	令和6年6月7日～26日	令和6年3月25日～4月15日
受験申込書の受付(写真要)	令和6年6月12日～26日	令和6年4月1日～15日
試験日	令和6年11月24日	令和6年7月15日
筆記合格発表	令和7年2月	令和6年10月29日
口頭試験	なし	令和6年11月～令和7年1月
技術士資格合格連絡	官報にて告示、本人宛に合格書送付	
試験会場	北海道、宮城県、東京都、神奈川県、新潟県、石川県、愛知県、大阪府、広島県、香川県、福岡県及び沖縄県	

技術士二次試験(筆記試験)の合格者は7名でした。(2024年10月29日発表)

● 2024年度 新入社員のための「分かりやすい繊維基礎講座」のご案内

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本講座は、令和6年に繊維関係の会社に就職された新入社員の方々や、初めて繊維関係のお仕事をされる方々、および繊維に関する基礎的で実用的な知識を学ばれたいの方々のための「分かりやすい繊維基礎講座」です。

1. 講座の趣旨

対面講座については大阪市内あるいは近郊の繊維関係会社(繊維メーカー、アパレル製造・販売会社、衣料量販店、百貨店、商社、繊維団地など)の社員の方々を対象に、平日の夕方、会社業務がほぼ終わりになる時間より開催します。対面講座の会場は、地下鉄御堂筋線:本町駅に近い、輸出繊維会館6階の日本繊維技術士センター(JTCC)大阪事務所です。

また、同時に講義内容をオンライン配信いたします。

2. 講座の主な内容

講義は JTCC(日本繊維技術士センター)所属の技術士が担当し、画像や現物サンプルなどを用い、目・耳・手を駆使して繊維を理解して頂くよう、カリキュラムを工夫しています。

またオンライン配信ではその様子をご覧になっていただけます。

詳細内容および申し込みは JTCC ホームページをご覧ください。

●令和6年度「繊維基礎講座」

今年度は終了しました。

●令和6年度「繊維寺子屋“観て・触って・考える・体験塾(東京会場)”

開講日時(素材編) : 令和7年(2025年)1月19日(日)・25日(土)9時30分～17時

(アパレル編) : 令和7年(2025年)2月1日(土)・2月9日(日)9時30分～17時

開催場所: 機械振興会館 211号室(東京都港区芝公園3丁目5-8東京タワー前)

講義方法: 対面式

受講料金: 33,000円

申込締め切り: Aコース; 12月29日、Bコース; 1月17日 申込はホームページから申し込んでください

●JTCC「公開講演会」

第4回先端繊維技術セミナー

主催: 日本繊維技術士センター 協力: 日本技術士会近畿本部

開催日時: 2025年3月14日(金) 13時30分～16時30分

講演方法: Teamsによるオンライン公演

演題1 「SDGsに資する次世代繊維材料素材の創出・染色・加工技術の伸展」

講師: 廣垣和正 福井大学学術研究院工学系部門 繊維先端工学講座 教授

演題2 「ナノファイバー技術の研究開発から事業化までの取り組み」

講師: 渡邊 圭 株式会社ナフィアス 代表取締役

兼任) 信州大学先端領域融合研究所 繊維科学研究所 特任教授

参加費: 会員 3,000円(消費税込み) 会員外 4,000円(消費税込み)

申込締め切り: 2025年3月7日(金)

申込方法: JTCCホームページの講演会案内

問い合わせ先: 日本繊維技術士センター(JTCC)本部 担当 源中 TEL: 06-6484-6506

●～国際シンポジウム ISF2024 に出展します～

日本繊維技術士センター(JTCC)は、本年11月に開催される「繊維学会主催国際シンポジウム ISF2024」にブース出展します。これによりJTCCの基本姿勢と活動内容を国内外に強く発信します。

出展日時: 2024年11月27日(水)9:00～28日(木)～17:00

会場: 京都テルサ(〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町 70)

●フェスタ ‘24 JTCC

2024年10月27日に、吹田市民文化会館(メイシアター)にて開催しました。
 賛助会員、JTCC会員の皆様、ご協力ありがとうございました。
 <ギャラリートーク>会員の展示品の紹介)



<賛助会員様の紹介>



<賛助会員様の広告> (有料)

(一社)化学物質管理協会

化学物質管理のコンプライアンスの教科書
化学物質管理者には一人一冊が必修

発行：新日本法規出版社
 監修 (一社) 化学物質管理士協会

製造業における化学物質の環境・安全管理の手引

編纂者 統括本部 (相互点検)、近畿本部 (担当：生産工程関連項目)
 執筆者 (統括) 林誠一氏、中丸直志氏、鈴木孝氏、中山健司氏
 (近畿) 伊藤雄二、安田悦氏、橋本隆幸氏、若林真樹氏
 兒玉哲夫氏、徳田進氏
 (中部) 花井健夫氏、池田和人氏、平田賢太郎氏、北河敏久氏

<https://www.sn-hoki.co.jp/shop/item/0675> (2023年6月新日本法規出版発刊)

(一社)日本衣料管理協会

JASTAは、繊維やファッション業界の専門家を育成・認定する団体です。

・ JASTAの沿革

- 2012年12月 設立
- 2013年1月 繊維製品品質管理士(FCJ)認定
- 2013年1月 繊維製品品質管理士(FCJ)認定

・ JASTAの事業内容

- 資格認定
- 出版
- 研修
- 調査

JASTAとは
 JASTA(一般社団法人 日本衣料管理協会)
 繊維の日本と事業内容について



兒玉様による活動内容紹介



近内様による活動内容紹介

講演会

講演1 「ファッション業界を支える業界団体の歩み」

講師: 西田裕紀様 (協同組合 関西ファッション連合)

講演2 「日本の繊維・ファッション産業の現在地と今後」

講師: 藤浦修一様 (株式会社 織研新聞社)

II. (業界ニュース)

1. 経済産業省(生活製品課)

・特定技能制度の変更について

○特定技能制度の概要について(出入国在留管理庁)

[出入国在留管理庁 説明資料\(特定技能制度の概要について\)](#)

○出入国在留管理庁 特定技能関係の申請・届け出様式一覧(出入国在留管理庁 HP)

○経済産業省 説明資料(繊維業の上乗せ4要件について)

○日本繊維産業連盟 説明資料(特定技能外国人の雇用手続き)

上記の動画説明もあります。

2. 環境省

・新着情報なし

3. 日本化学繊維協会、日本綿業振興会、日本染色協会

●日本化学繊維協会 (詳細は化繊協会のホームページ参照してください)

Unifi、使用済み繊維製品原料の新繊維を発表

米国の大手リサイクルポリエステルメーカーUnifi, Inc.が、この度、自社の「Textile Takeback」技術を生かし、「REPREVE」繊維を使用して開発した新繊維「White Filament Yam」と「ThermaLoop」を発表した。

White Filament Yam と ThermaLoop の共通の特徴は、使用済み繊維を少なくとも50%使用し、添加剤や染料を使用せずに作る、100%リサイクルポリエステル繊維であること。いずれの製品も、バージンのポリエステル繊維と同等の品質である。

Textile Takeback 技術により、産業と一般家庭からの廃棄繊維製品を再利用できる。

Unifiの代表ブランドである「REPREVE」は、2007年に開発された、リサイクル繊維・樹脂。Unifiの2023年版「Sustainability Snapshot」報告書によると、REPREVE 繊維は、2023年に同社の収益全体の30%を占め、2025年には収益の大部分を占めると予想されている。また、2030年目標として、Tシャツ15億枚相当分の繊維を再資源化することを掲げている(海外速報 No.1325)。

White Filament Yam は、白色の繊維であり、一般的な染色が可能。また、防臭、保湿、伸縮等の性能を付与することが可能。

ThermaLoop は、速乾性、断熱性のある軽量な高性能繊維で、洗濯機洗いが可能。米国のダウン・フェザーの試験機関 International Down and Feather Testing Laboratory が実施した試験によると、ThermaLoop を使用したダウン・フェザー製品は、一般的なダウン・フェザー製品と同等の断熱性をもっているという。

また、様々な国際認証を取得している。具体的には、FiberPrint 認証(製品に使用された繊維の追跡が可能であるとの認証)、U-TRUST 認証(製品のサプライチェーンの透明性等の認証)、OEKO-TEX 認証(繊維製品の安心・安全性の認証)、GRS 認証(米国 Textile Exchange のリサイクル製品の国際認証プログラム)、SCS 認証(製品/原料の中のリサイクル原料含有量の割合を認証)を取得している。

Unifi は今後、これらの新製品が大手ブランドに採用されるよう促進していきたい考え。

●日本綿業振興会（詳細はホームページ参照）

・新情報なし

●日本染色協会（詳細はホームページ参照）

・新着情報なし

4.（一社）日本衣料管理協会、（一社）繊維評価技術協議会（繊維技協）、他

●（一社）繊維評価技術協議会（繊維技協）

・新着情報なし

●協同組合関西ファッション連合 (KanFA)

・新着情報なし

●（一社）日本衣料管理協会

○2024年11月・12月のTES会行事

11月・12月のTES会行事

TES会とは

『TES会』では、資格取得後も法令法規改正や繊維製品に関する新しい知識を習得をでき、また、繊維製品に関わる方々と交流をすることができます。

『TES会』は、東日本、中部、西日本（九州会を含む）、北陸、中国の5支部に分かれています。対面のほかオンラインでも積極的に行事を行っており、会員はどの支部の行事にもご参加いただけます。

工場見学
苦情品研究
勉強会・講演会





クミボウ研 工場見学会（東日本）

【日時】11月19日（火）
工場見学 14：00～15：30
質疑応答 15：30～16：00

【見学先】南武蔵野クリーニング商会 所沢工場
【参加費】1,000円（TES会員限定）
【定員】30名
【締切】11月12日（火）



品質問題研究会（西日本）

【日時】11月20日（水） 13:45～17:00

【内容】①講演『ベビー、子供服の品質管理とクレーム事例』
講師：三起商工㈱ 製品安全管理部長 上田泰三氏

②グループディスカッション
事故品を実際に観察しながらグループ毎に原因分析を行う。

【会場】大阪産業創造館 6階 会議室 E
【参加費】3,000円
【定員】80名（TES会員限定）



新入会員歓迎会・勉強会（中国）

【日時】11月30日（土）13:30～16:30（受付13:00～）

【内容】①講演『ボタン（装飾パーツ）の素材と特性について』
講師：㈱アイリス 品質管理室 部長 元木一也様 課長 内田紀男様

②講演『繊維製品における資源循環システム』
講師：経済産業省より調剤流通の予定

③新会員紹介 2024年度TES試験合格者

【会場】倉敷市児玉産業振興センター
【参加費】会員2,000円 2024年度合格者：無料
【定員】40名
【締切】会場参加 11月21日（木）

TES新合格者歓迎・特別講演会（北陸）

【日時】12月7日（土） 13:30～18:00

【内容】①講演『PFAS規制の動向と評価方法』
講師：（一財）カケンテストセンター 大阪事業所 環境化学分析ラボ ラボ長 補佐 川原康博氏

②講演『快適被服を科学する』
講師：横浜国立大学 教育学部 家政教育講座 教授 藤本弥生氏

③2024年度TES新合格者歓迎会

【会場】福井県自治会館 2F 202・203室
【参加費】2,000円、2024年度合格者：無料
【定員】会場50名 リモート80名
【締切】11月26日（火）



ファッションビジネス必携資格
繊維製品品質管理士



行事の参加は左の二次元コードから各支部のホームページにアクセスしてお申込みください。ご不明な場合は日本衣料管理協会へお問い合わせください。



〒105-0011 東京都港区芝公園 2-11-13-205
電話：03-3437-6416
TES ホームページ：https://www.tes-shikaku.jp

一般社団法人化学物質管理士協会の紹介

<http://www.pro-mocs.or.jp/index.html>

2017年4月、化学産業の持続的発展や化学物質を扱うサプライチェーンの企業に安心・安全をもたらすために、日本技術士会化学部会の技術士が中心となり、一般社団法人化学物質管理士協会（Pro-MOCS）が設立されました。

Pro-MOCSには、化学物質管理に関心ある人材に高度な知識と技能を身に付けてもらえるシステムもあり、化学物質管理の実務経験が豊富で、Pro-MOCSの筆記試験及び口頭試験を合格された人材を化学物質管理士(補)[®]と認定し、排出していきます。

企業においては、認定された管理士（専門家）によって、環境保全や労働安全衛生における、化学物質の適切な管理、法律遵守、リスクアセスメント等の推進につながり、また、ご支援や情報提供をしていきます。

・川上企業のお客様へ

1. (独)製品評価技術基盤機構等へ届け出る申請書の作成支援
2. 化学物質管理に関係する申請書や届出書等を作成する企業様に「GHS分類」の判定業務の提供
3. 労働安全衛生法に対応できるリスクアセスメントの支援

・サプライチェーンの川中・川下企業のお客様へ

1. メーカー研究者の質問に答える形のSDS書類の作成指導
2. メーカーの販売する新規衛生・雑貨商品の自主基準の作成支援
3. 川中・川下の化学物質を扱い慣れていない企業様でのSDS作成支援、安全・衛生管理

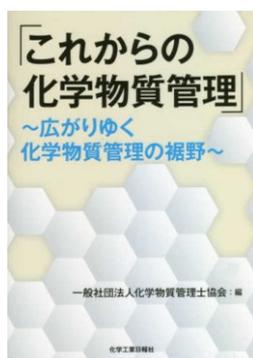
・自治体・消費者様へ

1. 化学物質管理の知見を増やすセミナーを計画する事業体様への専門家派遣
2. 化学物質の取扱いを啓発する解説書の作成
3. 警察署、消防署への化学品の安全取扱い説明会の開催

複雑化した化学物質管理を単独で実施するのがなかなか難しくなっています。私たちはチームを組んで、総合力で対応し、お客様のニーズに応えられるよう全力を注ぎます。

常日頃から化学物質を取り扱っている方は、一般の方へ化学物質の有用性やリスク管理を啓発し、環境や労働安全衛生等企業活動や社会貢献に寄与するために、Pro-MOCSで化学物質管理の専門知識を高め、広げられたらと思います。

執筆した図書は、これからの化学物質管理（2020年9月、化工日発刊）、製造業における化学物質の環境・安全管理の手引き（2023年6月、新日本法規出版発刊）があります。更新を含め、新たな教育図書作りも進めています。



Ⅲ. (技術情報)

詳細な内容は各学会誌、月刊誌をご覧ください。

◆〈繊維学会誌〉 2024年10月号



〈繊維学会創立80周年記念特集〉

○世代をつなぎ超える繊維の科学技術

京都工芸繊維大学 木村良晴

〈繊維学会創立80周年記念特集〉(レビュー)

○繊維産業の20年後を展望する ―加速するAI進化の中で― 長野大学 平井利博

○繊維の力学物性を決める構造 信州大学 富澤 鎌、金 慶考

○繊維集合体の構造形成と物性およびその応用技術

信州大学 木村裕和 京都女子大学 坂口明男

○紡糸工学

東京工業大学 鞠谷雄士 信州大学 宝田 亘

○染料・染色・機能加工

福井大学 廣垣和正・堀 照夫

〈解説〉

○銀行券の偽造防止における紙の役割

(独行法)国立印刷局 斎藤和春

〈繊維 街歩き 5〉

○結城市伝統工芸館訪問記

繊維学会 小寺芳伸

◆〈繊維製品消費科学会誌〉 2024年9月号



解説

○カチオン染料の還元と再酸化を利用したポリプロピレン繊維の新規染色法

富山県産技研 吉田 巧

○女性の健康問題とスマート衣服の可能性

九州大学 金子美樹

○袱紗・風呂敷の文化を伝えて～京都 宮井127年の歴史～

宮井(株) 小山祥明

○五感工学とクロスモーダル効果

横浜国立大学 岡嶋克典

資料

○産褥入院中の授乳服のデザインに関する研究

―褥婦の視点による授乳のしやすい授乳服の要素―

福岡看護大学 中西真美子、青木久恵 佐賀大学 小松美和子

福岡女子大学 庄山茂子

◆〈繊維機械学会誌〉 2024年9号



総説

○「繊維製品におけるライフサイクルアセスメントの考え方と実践」

東京大学 天沢逸里

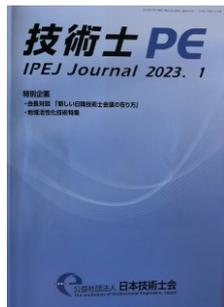
解説

○「ロボットに着物を着せる一きものデザインと着装効果」

(地独法)京都市産技研 小田佳子、 京都光華女子大学 緩目菜々、知念葉子

筑波大学 安久絵里子、原田悦子

次月号で掲載します。



(月刊誌)

◆<加工技術> 2024年9月号



- サーキュラーエコミーを目指した 繊維リサイクルの最近の動向(上) 京都工芸繊維大学 木村照夫
- マイクロ波を活用した 綿/ポリエステル混紡繊維の分離・リサイクル技術を開発 大阪大学 宇山 浩ら
- セルロースナノファイバー最前線 2024
レビュー1「第6回セルロースナノファイバー(CNF)活用セミナー」より
- 潜熱蓄熱材で次世代のエネルギーマネジメントを！ 三木理研工業(株)
- アパレルものづくり アパ・これ・ろん 7 JTCC 樋之口孝子
- 時空繊維 34 JTCC 八木健吉
- 「宮廷女性を目指した石山寺」

○展示会情報

「JIAM 2024 OSAKA 国際アパレル&生産技術見本市」
 日時 2024年11月27日(水)~30日(日)
 会場 インテックス大阪 2・3・4・5A 号館
 主催 日本縫製機械工業会

国際アパレル&ノンアパレル生産技術見本市



JIAMから、つながる... ~次世代技術と匠の技の コラボレーション 2024~

2024年11月27日(水) - 30日(土)
 インテックス大阪 2-5号館

詳しくはこちら



JIAM2024 OSAKA
公式サイト

主催：JASMA一般社団法人 日本縫製機械工業会



Home Sewing Zone
ワークショップも開催



スナップレザーパーチ





【特集1】日本繊維技術士センター（JTCC）

- ◎一般社団法人 日本繊維技術士センターについて 5
- ◎技術士資格について 9
- ◎JTCCの活動について12
- ◎技術士の資格取得の事例紹介22
- ◎JTCCの今後の展望30
- ◎「フェスタ'24JTCC」と「国際シンポジウム（ISF2024）」32
- ◎資格賛助法人・団体会員一覧34

【特集2】企業特集～四国編2～

- 次代へ向けた機能性素材でさらなる可能性を期待する36
- 6つの製法で築いた信頼のブランド
次代へ向けての新たな挑戦も／シンワ37
- 人と未来の調和を目指して！
機能性材料の製造、革新と進歩を通じて社会に貢献／三木特種製紙39
- 半世紀かけて具現化してきた開発力で
さらなる可能性へ飛躍する企業／マルヤス42
- 大切な自然と豊かな生活の共存が私たちの願い／丸住製紙45
- 無限の可能性 紙で未来をつくる企業／阿波製紙48

<新聞、他>

織研新聞

○2024年1～8月の衣料品の輸入（数量:百万点、金額:億円、シェア:%、下段:前年同期比）

順位	国	ニット衣料		布帛衣料		合計			
		数量	金額	数量	金額	数量	シェア	金額	シェア
1	中国	800	4,970	322	4,259	1,122	49.8	9,229	55.0
		▲30	4.0	▲15.4	▲4.3	—	—	—	—
2	ベトナム	280	2,050	71	1,723	351	15.6	3,773	22.5
		15.6	19.7	▲6.9	6.9	—	—	—	—
3	バングラデシュ	139	591	37	590	176	7.8	1,181	7.0
		▲12	▲1.4	6.5	12.3	—	—	—	—
4	カンボジア	102	571	37	622	139	6.2	1,193	7.1
		21.5	24.2	12.6	17.8	—	—	—	—
5	ミャンマー	63	292	58	692	141	6.3	984	5.9
		4.3	2.3	▲7.0	▲5.8	—	—	—	—
6	イタリア	1	335	1	519	2	0.1	854	5.1
		▲0.3	—	▲2.8	22.5	—	—	—	—
7	インドネシア	30	180	28	429	58	0.3	609	3.6
		▲10.9	▲4.5	▲6.7	2.2	—	—	—	—
8	その他	67	443	33	711	265	13.9	1,053	6.3
		—	—	—	—	—	—	—	—
	全世界	1505	6,950	749	9,820	2,254	100	16,770	100
		1.9	10.3	▲8.8	2.6	—	—	—	—

出所:日本貿易統計

「JTCCニュース」では、毎月数社の企業紹介や製品の案内をさせていただきます。

掲載をご希望の方は、jtcnews@mbrnifty.com に投稿してください。(掲載料金は無料です。)

賛助法人・団体会員様の声(技術的な問題, JTCCに対する声などをメールでお聞かせください)

連絡先:jtcnews@mbrnifty.com

JTCCニュース用のメールアドレスは、jtcnews@mbrnifty.com です。

編集:一般社団法人 日本繊維技術士センター 広報委員会 JTCC ニュース担当 金田哲郎

一般社団法人 日本繊維技術士センター(JTCC)

本部事務所 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目4番9号 輸出繊維会館6階

☎ 06-6484-6506 FAX 06-6484-6575 E-Mail jtcc@nifty.com

関東支部事務所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-9(滋賀ビル506号室)

☎ 03-5643-5112 FAX 03-5614-0103 E-Mail jtcc-kt@nifty.com

東海支部事務所 〒460-0011 名古屋市中区大須1丁目35-18 一光大須ビル7階

(公財)中部科学技術センター内 ☎ 052-231-3043(代) FAX 052-204-1469